

群馬県伊勢崎市立赤堀中学校  
第2学年講演会資料  
＜3日間の職場体験を終えた皆様へ＞

## 働くことの意義を考える

—「社会で生きていくうえで大切なこと」「中学生として、今、身につけておいてほしいこと」—



2024年11月28日(木)

14:55～15:45

開倫塾  
塾長 林明夫

- 開倫塾日本語学校理事長・校長
- マニー株式会社取締役(2004年～2010年)
- 社会福祉法人両崖福社会  
特別養護老人ホーム清明苑 監事(足利市)
- 宇都宮大学大学院工学研究科客員教授
- 群馬経済同友会 会員

Q 1 : 「働く」とは何ですか。「仕事」をするとはどういうことですか。

A : (1) 「仕事」とは、「製品(もの)」や「サービス」を、「お客様」に提供することです。

(2)すべての「仕事」には、「お客様」がいらっしゃいます。

(3)「仕事」とは、「製品(もの)」や「サービス」を「お客様」に提供し、「お客様のお役に立つこと」です。

(4)「お役に立つ」とは、「お客様」の「困っていること」や、「問題」を「解決すること」です。

(5)同じような「お客様」が、「世の中」にはたくさんいらっしゃいます。

そこで、「仕事」とは、「お客様」や「世の中」の「お役に立つこと」と考えます。

<ここでちょっと一休み「コーヒープレイク (I)」です>

「3日間の職場体験」を終えた皆様にお聞きします。

(1)<どのような職場でしたか>

---

(2)<その職場のお客様は、誰だと考えますか>

---

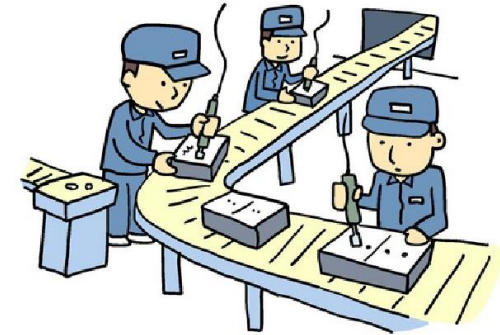
(3)<お客様が困っていることや問題は、何だと考えますか>

---



Q 2 : 人は何のために働くのですか、仕事をするのですか。

- A : (1) 「お客様や世の中のお役に立つため」  
(2) 「生活するだけの収入を得るため」  
(3) 「仕事を通して、自分の夢や希望を実現するため(自己実現)」



<ここでちょっと一休み「コーヒーブレイク (II)」です>

(1) <人は何のために仕事をすると考えますか>

(2) <将来、してみたい仕事は何ですか>

(3) <なぜ、その仕事をしてみたいのですか>

Q 3 : 林さんには、社会で生きていくうえで、大切にしていることばがありますか。あったら紹介してください。

A : あります、たくさんあります。

- (1) 「会った人は、皆、友達」
- (2) 「ブルドッグ魂(食いついたら離すな)」
- (3) 「練習で泣いて、試合で笑え」
- (4) 「一所懸命(一つの所で命を懸けるくらい熱心にものごとに取り組もう)」
- (5) 「価値(大切さ)、意味、秩序」

①ものごとを行うときには、その「価値(大切さ)」とは何かを、よく考える。

②次に、そのことの意味、自分にとっての意味を、考える(意味づけ)。

③そして、ではどうするか、何をして何をやらないかを、自分の力で考える。

自分で自分のルールを決める(自己決定)。そして、「秩序」正しく行動する。

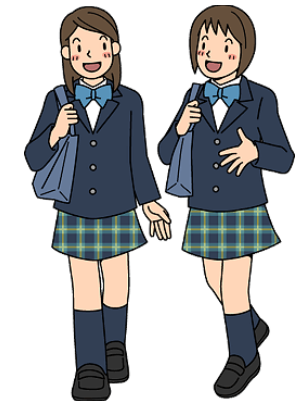
自律的に活動する。

- (6) 「スポーツの3つの宝」
  - ① 「練習は不可能を可能にする」
  - ② 「フェアプレー」
  - ③ 「よき友」



- (7) 「人生は青天井、一生青天井」
- (8) 「一生勉強、一生青春」(相田みつを)
- (9) 「初心、忘るべからず」
- (10) 「持続する志」
- (11) 「目には見えねど、心は近い」 「励まし合う、仲間づくり」
- (12) 「If you can dream, you can do it!」

—もしあなたが夢をみることができれば、あなたはそれを実現することができる—



<ここでちょっと一休み「コーヒーブレイク (II)」です>

皆様の好きなことばは何ですか。あったら書いてください。

---

Q 4 : 仕事をするうえで大切なことは何ですか。

A : (1) 「チームプレー」

- ①仕事は一人ではできません。みんなでする「チームプレー」です。
- ②「チームプレー」とは、自分のポジションは自分でしっかり守り切ること。
- ③「チームプレー」をするには、お互いに同志、認め合い、尊敬し合い、仕事をするのが大切です。  
○特に、お互いのよいところを認め、尊重すること。

(2) 「リーダー」

- ①すべての仕事(職場)には、「リーダー」がいます。
- ②「リーダー」とよく話し合うこと(報告・連絡・相談を)。
- ③「リーダー」は、メンバーと話し合い、コミュニケーションをとること。



<ここでちょっと一休み「コーヒーストップ (IV)」です>

リーダーとはどのような人だと考えますか。

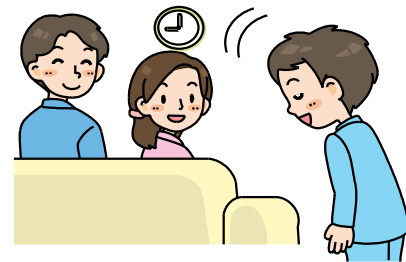
---

(3) 「5 S(ごえす)」・・・「ローマ字で書くとSで始まる5つのことば」

- ①「整理」 Seiri・・・「不要なものは処分」
- ②「清掃」 Seisou・・・「きれいに掃除(そうじ)」
- ③「整頓」 Seiton・・・「物は同じところに置く」
- ④「清潔」 Seiketsu・・・「①～③を継続」
- ⑤「躰」 Shitsuke・・・「自分から進んで行う」

(4)別の意味の「躰(しつけ)」も大事

- ①「美しい立ち居振る舞い(たちいふるまい)」・・・「服装第一」
- ②「美しい言葉遣い(ことばつかい)」・・・「敬語表現を含む言葉遣い」(です、ます)
- ③「元気なあいさつ」・・・「あいさつは、こちらからするもの」



Q 5 : 中学生・高校生として、今、身につけておいてほしいことは何ですか。

A : (1) 中学校・高校の各学年で学ぶ、すべての教科の内容

- ①なぜか。今、中学校で学ぶ内容は中学3年生になってすべて役に立つからです。中学3年生で学ぶ内容は、高校ですべて役に立つからです。
  - ②高校入試のための受験勉強は、中学3年間の内容がすべて出題されます。
  - ③時間をかけてきちんと中学3年間の勉強をし終えて、入学試験を受けると、高校での勉強がよくわかります。
  - ④ですから、しっかり、受験勉強をし、中学3年間の内容を身につけて高校に進学してくださいね。
  - ⑤高校で学ぶすべての教科の内容は、高校卒業後、進学する大学・短期大学・専門学校・専修学校ですべて役に立ちます。
- 学校を卒業後の仕事や、社会的活動、日常生活で、また、よく生きるうえで、すべて役に立ちます。一生、役に立ちます。

- このように、中学・高校の勉強は一生役に立ちます。
- ですから、大切なことは、中学・高校の「学校教科書」、「辞書」、「地図帳」、「年表」、「授業ノート」などは、決して処分しないことです。
- きちんと「整理」し、折に触れて勉強し直してくださいね。一生、役に立ちますよ。





(2) 学校行事、委員会活動、当番、部活動などの「教科外教育活動」

○これらも、社会に出て役立ちます。積極的に参加してくださいね。

(3) 「効果の上がる学習方法」

○少しずつ少しずつでいいですから、工夫をし、身につけてください。

○社会に出てからも学ばなければならないことが、たくさんあるからです。

①「予習」の仕方(これから学ぶことは何かを知る)

②「授業」の受け方

③「ノート」の取り方

○「ノートの整理」の仕方

○「ノートの活用」の仕方(「仕事はメモで身につける」という教えもあります)

④「復習」の仕方(一度学んだことは、必ず「復習」)



⑤「定着」の仕方

- 「音読練習(暗唱)」(学んだことを、声を出して読む)
- 「書き取り練習(暗記)」(正確に書けるようにする)
- 「計算・問題練習」

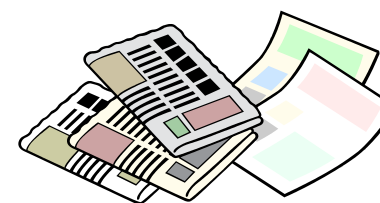


⑥「テスト」の受け方(「一度解いた問題」は「必ずやり直す」)

(4)「読解力」の身につけ方

○「文字や文章、情報を正確に読み解く力」を身につけましょう

- ①「辞書」の活用の仕方 (1日10回、辞書を引こう!)
- ②「新聞」の読み方 (1日30分、新聞を読もう!)
- ③「読書」の仕方 (1日30分、読書に励もう!)
- ④「図書館」の活用の仕方(1日1回、図書館に行こう!)



<ここでちょっと一休み「コーヒーブレイク (V)」です>

勉強の仕方がわからなくて困っていることがありますか。あったら、いくつか書いてください。

- (1) \_\_\_\_\_
- (2) \_\_\_\_\_
- (3) \_\_\_\_\_

Q 6 : 最後にお聞きします。中学2年生として、今、必要なことは何ですか。

A : (1) 「学習習慣」を身につけること

①来年の今頃は、高校入試に向けての勉強に打ち込んでいる方が多いと思います。入試の直前になってあわてて勉強しても、勉強する量が多すぎて、なかなか入試に間に合わない中3生がたくさんいます。

②そこで、できれば、早目に、中2の冬休みが始まる前くらいまでに、「学習習慣」を身につけて、早目、早目に準備することをおすすめします。

○どこの中学校でも、2月の中旬頃には「学年末試験」があるからです。

③おすすめは、「学年末試験」に向けての勉強です。

○「学年末試験」は全教科、1学年分の全範囲から出題されます。

○12月に入ったら「学年末試験」の勉強をスタート。

○ゆっくり、2か月半かけて、中学2年生のすべての「学校教科書」「学校問題集」「授業ノート」を勉強し直すことをおすすめします。

○そして、「すみからすみまで」「理解」し、「定着(身につける)」ことをおすすめします。2か月半あれば、よい点数(100点満点)が取れますよ。



(2) 「何のために勉強するのか」しっかり自分自身で考えて行動すること

- ① 中学校の勉強は、すべて高校・大学・専門学校で役に立ちます。
- ② 学校での勉強は、すべて仕事や社会的活動、日々の生活、よく生きるために役立ちます。
- ③ 「多様な選択肢のある人生を歩む」ために役に立ちます。
- ④ 「正常に機能する社会の形成に貢献する」ために役に立ちます。



(3) 何のために「テスト」はあるのか、「提出物」の提出があるのかを、自分の力でしっかり考えること

- ① 中学校の勉強は、学年が上がるに従ってだんだん高度になり、難しくなってきます。
  - そこで、授業の前に「予習」をし、「授業」をしっかり受け、「復習」をし、「定着」を図り、「理解」を深めることが求められます。
- ② 「テスト」や「提出物」は中学校各学年の勉強の総仕上げです。
  - 「テスト」のための勉強によって、今までに「学んだことを自分のことばでいえる(表現・説明)できる」ようにしましょう。
- ③ 提出物の提出によって、「今まで学んだことを自分の力で表現できる」ようにしましょう。

- 「テスト」や「提出物」は「学んだことを自分のことばでいえる(表現・説明できる)こと」で役立ちます。
- 「学んだことを自分のことばでいえる(表現・説明できる)こと」を「深い理解」といいます。
- 「テスト」や「提出物」は、学んだことの「深い理解」に役に立ちます。

(4) 「なぜ高校に進学するのか」を自分の力でしっかり考えること

①現代は「知識基盤社会(知識が基盤となった社会)」です。

○そこで求められるのは「知識・情報・技術をうまく組み合わせて用いる能力」です。

②現代は「グローバル化社会」です。

○そこで求められるのは「多様な集団で交流できる能力」です。

③現代は「課題山積社会」です。

○そこで求められるのは高い志をもち、「自律的に行動する能力」です。

○これらの能力を身につけるのに、高校での勉強、教育は不可欠と考えます。



(5) 「自覚をもって学ぶこと」を自分の力でしっかり考えること

①「自分から進んで学ぶ力」

②「主体的に学ぶ力」

③そして、自己学習能力を自分の力で育てる

(6)①「人生は青天井、一生青天井」皆様のよさ(潜在可能性)は限りなく大きなものです。

②「一生勉強、一生青春」一生勉強し続け、皆様のよさ(潜在可能性)を自分の力で一生にわたって伸ばし続けてくださいね。

③ただし、「健康第一」です。「心の健康」、「身体の健康」を大切に！



感謝

ご清聴、ありがとうございます。

心から感謝いたします。

ご質問、ご意見、ご感想あれば、ご自由にご発言ください。